

令和2年度第2回生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会意見一覧

No.	委員名	寄せられたご意見及びご質問	事務局の考え方
1	岸本委員	<p>施設工事について、地元業者はどの程度受注しているのですか？（JV等々）</p>	<p>施設工事については、協定書により事業者の責務において行われるべきものです。工事業者は事業者における入札手続きを経て選定されており、入札の結果、市内業者の受注はありませんでした。          今後も、施設内で使う備品や消耗品類の調達の際には、可能な限り市内事業者を利用していただくよう、事業者に要請してまいります。</p>
2	森田委員	<p>①工事の進捗状況に各竣工遅延の記載がありますが、全館の開所はいつ頃予定しているのか、部分的に随時行っていくのか？          ②事業の進捗状況等について、別冊1の形成事業計画書にページ数が付されていないので、分かりにくかった。          ③これまでパブリックなどで、意見等を述べさせていただきましたが、改めて考えたことを添付してみました。  <b>添付いただいた意見の全文は別添1参照（以下は要旨）</b>          i ココルクへの入所者等に対し、「散歩や買い物へのサポート」「趣味活動を通じた交流」「ボランティアを活用した話し相手確保」等により、孤独感を感じないように配慮する。          ii 転居後の持家をココルクで借り上げ、入居者が荷物等の保管場所として低額で利用できるようにする。          ④コロナ禍で入所する事項についても検討が必要かもしれません。対策によっては、入所者の減少が懸念されます。</p>	<p>①拠点地域は、令和3年4月から、順次オープンしていく予定です。          ②資料中、別冊1「生涯活躍のまち形成事業計画」には、ページが付されておらず、お詫び申し上げます。          ③江別版「生涯活躍のまち」構想では、子どもから高齢者、障がいをお持ちの方など多様な主体が交流し、生涯にわたって住み慣れたまちで自分らしく生活する共生のまちづくりを目指しております。          いただいた貴重なご意見につきましては、ワークショップを通じて出されたアイデアを含め、事業者とともに検討し、可能なものはオープン初年度から取り組むなど、今後の参考とさせていただきます。          なお、転居後の持家の処分については、所有者の判断によることと思っておりますが、事業者において借上げ等を行う予定は、現時点ではありません。          ④事業者においては、各施設の運営上、新型コロナウイルス対策には万全を期していただけるものと考えておりますが、市としましても、事業者と連携しながら安全対策に努めてまいります。</p>
3	田原委員	<p>①資料には必ずページを付して下さると助かります。          ②此度の建設箇所が大麻地区であるため、近隣の大麻地区・自治会・学校・施設等との連携が多いですが、江別市「生涯活躍のまち」事業として考えますと、拠点地域ばかりでなく市全体の関係団体・機関等との連携が、より多くあることを希望します。</p>	<p>①資料中、別冊1「生涯活躍のまち形成事業計画」には、ページが付されておらず、お詫び申し上げます。          ②生涯活躍のまち構想では、まず、拠点地域の整備や関係機関と連携した周辺地域における様々な取組みを充実させ、その効果を大麻地区、ひいては市全体に波及させていくことを目指しております。          このことから、来年度まずは、拠点地域を多くの市民のみならず、に知っていただき、気軽に立ち寄っていただけるエリアとなるよう、事業者を始め関係機関とともに最大限努力していくとともに、市全体の関係機関等との連携により、その効果を大麻地区・市全体へ波及させていけるよう努めてまいります。</p>

No.	委員名	寄せられたご意見及びご質問	事務局の考え方
4	新田委員	<p>①介護保険施設の竣工遅延については、市の介護保険事業計画に関わることでありますので、市民に対する説明と今後の対応等を出来るだけ明確にしてください（工事の進捗状況を踏まえた開設日、入居等サービス提供開始の見通しなど）</p> <p>②たびたび申し上げておりますが、大麻地区の他の介護保険事業所や地域包括支援センター、市社協との連携協働は必須と思っておりますので具体的にご検討願います。</p>	<p>①施設の竣工遅延につきましては、既に市民のみなさまには市ホームページでお知らせし、介護保険施設等の入所・入居予定者のみなさまへは事業者が個別に説明しております。今後においても、市民のみなさまには、丁寧にお知らせしてまいります。なお、個別の介護施設サービスの提供時期等につきましては、事業者が中心となり開設準備室等における個別相談の際にご案内するほか、市内の居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等へ情報提供してまいります。</p> <p>②既に、介護関係事業所や施設、市内の主な病院等につきましては、個別に訪問しているほか、地域包括支援センターとも職員が相互に訪問するなどして情報交換を行っております。また、市社協のボランティアセンターを訪問し、アクティブシニアの就業に係る情報交換も行っております。引き続き、地域の様々な関係機関と連携を図ってまいります。</p>
5	三井委員	<p>5回のワークショップ中4回に参加しました。「アクションアイデア一覧」に掲載されてる以外にもココルクを活用してみたい、人との繋がりを生み出す取り組みをしていきたいという思いがワークショップの中でたくさん生まれていました。</p> <p>生涯活躍のまちの実現や、より良い活動の拠点となるためには、できるだけ多くの人に馴染みを持ってもらい、好意的に巻き込む必要があるとワークショップに参加して感じていました。</p> <p>参加者から「ワークショップで出たアイデアを市民に紹介するような機会も作りたい」という意見があったと思うのですが、工事の進捗も遅れる予定ですし、せっかくのやる気や思いが削がれないように、そうした機会が実際に作っても良いと思いました。</p>	<p>ワークショップでは、多くの方のご参加とたくさんアイデアをいただきました。ワークショップで出たアイデアにつきましては、当初12月の市民説明会を通して、市民のみなさまにお知らせする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を延期することとしたことから、まずは、市ホームページにおいて12月7日付けでワークショップの開催結果について掲載しております。</p> <p>今後、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、市民説明会の開催について検討していくとともに、今後広報等において、ワークショップの結果や、拠点地域で地域の方に開放できるスペース、ボランティア募集などについて、市民のみなさまへお知らせしていく予定です。また、ワークショップに参加された方やココルクえべつに関心のある方が気軽に集まることのできる場づくりについても検討してまいります。</p>

No.	委員名	寄せられたご意見及びご質問	事務局の考え方
6	中井委員	<p>全文は別添 2 参照（以下は要旨）</p> <p>①新型コロナウイルスの状況次第だが、できるだけ速やかに対面議論する協議会の開催を望む。</p> <p>②書面開催となり傍聴が出来ない場合でも開催の周知をすべきである。また、開催結果のホームページ掲載も必要。</p> <p>③今期の委員に何が求められ、意見がどう反映されるのかわからないため、初めて参加した委員にもわかるように丁寧な説明をお願いしたい。</p> <p>④下記の意見について検討願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i 当協議会へ参加している団体以外も「関連組織」として位置付け、ネットワーク化を図ることで多様で幅広い参加が期待できる。</li> <li>ii パン工房やレストランで江別産の食材を使用することで地域の産業とのつながりが強まり、障がい者やアクティブシニアの就労機会につながる。</li> <li>iii ココルクに至る道路に「ココルクへの道」「ココルク・ロード」のようなネーミングで存在をアピールする。</li> <li>iv ココルクから大麻東中学校の間の 4 番通の歩道は、素晴らしい景観であるため「ココルク遊歩道」と名付ける。また、1 2 丁目通と 4 番通の交差点に信号機の新設及び歩道段差解消。</li> <li>v 機能訓練施設が十分ではない為、今後の施設整備もしくは近隣施設との連携対応を提案したい。</li> </ul> <p>⑤ワークショップからの提案については、開設までに間に合わせることは難しく、これから協議会で検討していきたい。</p>	<p>①新型コロナウイルスの状況を見ながら、対面での協議会の開催について検討してまいります。</p> <p>②事前のホームページ等による開催のお知らせは、多くの方に協議会を傍聴していただきたいという趣旨で公表しております。今回の開催結果につきましては、委員のみなさまからいただいたご意見等を含めホームページ等で公表する予定であります。</p> <p>③資料の補足説明でもお知らせしておりましたとおり、今期の協議会は、来年度から開始される事業をより良いものにするため、関係機関等との協議や調整の経過などを報告し、それに対するご意見をいただくことなどを目的としております。いただいたご意見などにつきましては、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>④江別版「生涯活躍のまち」構想では、子どもから高齢者、障がいをお持ちの方など多様な主体が交流し、生涯にわたって住み慣れたまちで自分らしく生活する共生のまちづくりを目指しております。いただいた貴重なご意見につきましては、ワークショップを通じて出されたアイデアを含め、事業者とともに検討し、可能なものはオープン初年度から取り組むなど、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、「ココルクえべつ」の名称は、事業者において、商標権者の使用許諾を得て使用しているものであり、各種ネーミングに「ココルク」の表記を自由に使用することはできないこととなっております。</p> <p>⑤ワークショップで出されたアイデアのうち、来年度に実施する取組みにつきましては、現在、事業者やコーディネーターと相談し、準備を進めているところです。取組み内容などにつきましては、今後、協議会でお知らせしてまいります。</p>

※要旨以外は、いただいたご意見のとおり掲載しております。